

# 盛岡市 I T 産業振興戦略

戦略期間：令和 3（2021）年度  
（10 年間）～令和 12（2030）年度

- 盛岡市工業振興ビジョン
- 岩手県と盛岡市との産業振興の連携に関する協定
- 岩手県と戦略を共有しながら、いわて I T 産業成長戦略と連携し、戦略を強力に推進

具体的施策・取組を  
推進する上での指針



- 盛岡市の I T 産業の振興
- 県民計画、北上川バレー P への貢献

## 目標

多様な主体との活発な産学官連携や企業間連携等の下、未来技術による事業を世界に展開し、高度人材と企業を惹きつけて新たな価値を創造する I T 企業が集積する。

## 戦略

### ① I T 産業の取引拡大・高度化の推進

I T 企業が同業・異業の他社や学術研究機関、行政などの多様な主体と活発に連携し、その成果を活用しながら高付加価値な製品・サービスをグローバルに展開して、企業価値を豊かにし、地域経済を力強く牽引することを目指す。

### ② 企業誘致及び起業・創業による立地集積の促進

I T 企業の誘致及び起業・創業による立地が進むことによってまちが活性化し、I T 産業の発展が社会的課題の解決に寄与することで市民と企業を豊かにするモデル都市として、本市が広く世界に認識されるようになることを目指す。

### ③ 高度 I T 人材の育成・確保への支援

I T 人材が、本市で仕事をし、生活することに誇りを持ちつつ、自然体の暮らしを営みながら創造的なビジネスをすることで、本市が新たな時代の豊かさを実感できるまちとなり、地域、全国、世界から優秀な人材が集うことを目指す。

## 数値目標

### 市内 I T 産業売上高

【現状】 26,769 百万円 ⇒ 【5 年後】 57,000 百万円  
⇒ 【10 年後】 74,000 百万円

### 市内 I T 産業事業所数

【現状】 116 社 ⇒ 【5 年後】 170 社  
⇒ 【10 年後】 200 社

### 高度 I T 人材<sup>※</sup>の県内就職者数

【現状】 98 人 ⇒ 【5 年後】 120 人  
⇒ 【10 年後】 150 人

※岩手大学理工学部・大学院総合科学研究科理工学専攻、及び岩手県立大学ソフトウェア情報学部・大学院ソフトウェア情報学専攻の卒業・修了者（年度）

## 企業、教育研究機関、産業支援機関、金融機関、行政、住民等による連携

## 推進施策

Society5.0 の実現、D X の推進など新時代の潮流を捉えた取引拡大と製品・サービスの高度化・高付加価値化の推進

### ① 新事業開発

- ・オープンイノベーション創出に向けた、企業間連携ネットワークの強化のためのプラットフォームの構築
- ・遠隔医療、自動運転、ドローン、スマート農業などの実証実験フィールドの提供
- ・未来技術の社会実装に向けた、所管官庁への働きかけ
- ・社会的課題解決のための文理融合型の産学官連携体制の構築
- ・未来技術の最新動向へのキャッチアップ支援
- ・デジタルデータを活用した事業展開支援

### ② 経営革新

- ・企業訪問等によるニーズ収集・情報提供の強化
- ・ソフトウェア等設備投資支援
- ・外部専門家等による経営等指導
- ・金融機関との連携による資金調達支援

### ③ 販路拡大・海外展開

- ・サプライチェーン強靱化支援
- ・様々な業種、地域、事業規模の企業と地元 I T 企業とのマッチング
- ・国内外販路開拓支援
- ・産業分野・行政部局横断的な支援サービスの提供
- ・I L C 誘致を見据えた地元企業のグローバル展開支援

経済の好循環と地域全体としての競争力を確保しながら持続的な成長を実現するための、企業誘致及び起業・創業の促進

### ① 企業誘致

- ・ I T 企業集積拠点の創出
- ・誘致企業と地元企業との取引拡大支援
- ・研究開発型事業を創発する地域としての立地メリットの発信
- ・産業構造、地域間格差、人口減少などの社会的課題や産業構造、気候、環境、伝統・文化などの地理的・地域的特性による事業機会の展望を打ち出した誘致
- ・ I T 企業、高等教育機関、学術研究機関のサテライト立地誘致
- ・盛岡に所縁のない事業者・従業員への移住支援
- ・地元人材の雇用確保支援

### ② 起業・創業

- ・企業の成長段階に応じた一貫支援体制の強化
- ・研究開発・実証実験成果の社会実装段階でのスピノフなどの事業化支援
- ・社会的課題による事業機会と起業・創業者とのコーディネート
- ・商品化・販路開拓に対する支援
- ・地元ベンチャー企業・スタートアップ成長のための重点的支援の仕組みづくり
- ・ベンチャーキャピタルによるリスクマネーの供給強化のスキーム確立
- ・ I T 分野に特化した起業家育成
- ・大学等高等教育機関の学生を対象とした起業・創業教育

今後急激に高まる I T 人材需要を背景とした高度 I T の知識・技術を有した人材の育成と本市への定着支援

### ① 人材育成

- ・小中学生等を対象とした、I T が可能にする近來の最新予測やプログラミング等 I T 技術の体験学習機会の創出
- ・高校生等を対象とした、I T に関する職業観の醸成や進路形成支援
- ・大学生等を対象とした、I T 事業環境の周知と実証実験等参画、起業・創業の促進
- ・社会人を対象とした、I T 業界の動向や未来技術に精通した人材育成への支援
- ・海外の学生、研究者、企業と地元人材との技術交流

### ② 人材確保

- ・地元 I T 企業へのインターンシップ支援
- ・高度 I T 人材の U I ターン促進
- ・本市の I T 企業の魅力的な事業内容や地域貢献への取組の発信
- ・高度人材が魅力を感じる事業・雇用環境の実現

## 現状・成果・課題

現状 産学官連携の体制強化

成果 活発な産学官連携

課題① 成長性の低い業務への依存

- ・下請け・孫請けなどの受注構造からの脱却
- ・独創的な研究開発と事業化によるイノベーションの創出
- ・高度かつ高付加価値な製品・サービスによる首都圏及び世界との取引拡大
- ・企業価値の向上による企業集積及び域外からの投資の誘引

現状 産業支援機関による事業支援

成果 事業環境の充実

課題② 良好な立地環境や支援体制の不足

- ・雇用の受け皿となる魅力的なオフィス物件の整備
- ・研究開発型のベンチャー企業・スタートアップに対する、事業化に至るまでの各段階を一貫して支援する体制の強化
- ・企業立地環境の整備による新事業への参入、起業・創業機運の醸成とイノベーションの創出

現状 高等教育機関の集積

成果 人材の育成・輩出

課題③ 高度 I T 人材の流出

- ・イノベーション創出の源泉である理工系人材の県外流出抑止
- ・創造的で魅力溢れる仕事を通じて世界にチャレンジする環境の整備
- ・能力や実績に見合った所得の実現

## 盛岡市の強み ☆ 東北第 2 位の I T 産業の集積 ☆ 豊富な理工系人材 ☆ 事業機会と高い都市機能

## 背景

- ・ I o T、ビッグデータ、A I、ロボット等に代表される未来技術による「第 4 次産業革命」、D X（デジタルトランスフォーメーション）の加速
- ・サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより実現する新しい社会「Society 5.0（超スマート社会）」と、その先行的な実現の場としての「スマートシティ」としてのまちづくり
- ・経済、社会、環境を巡る地球規模の課題に対して、世界全体が共に取り組むべき普遍的な目標「S D G s（持続可能な開発目標）」
- ・新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動のデジタル化・オンライン化と、人口一極集中の解消契機

⇒ I T は、あらゆる主体におけるイノベーションの創出のための基盤として決定的な役割を果たすこととなり、全ての経済社会活動において欠かすことができない技術として今後も成長を続けていくことが見込まれる。